

『自衛隊車両海外流出問題 独自の追跡取材で防衛省が動く』

北日本制作者フォーラムで優秀賞を受賞

この度、「北日本制作者フォーラム in あおもり」(11月1日(金)・青森県青森市)において、HTBで放送されたニュース企画が、優秀賞を受賞しました。制作者フォーラムは、組織の枠を越えた制作者同士の自由な意見交換、交流の場を設けることを狙いに、全国5つの地区(北海道・東北{北日本}、北陸・長野・新潟{北信越}、愛知・岐阜・三重、中国・四国{中・四国}、九州・沖縄)で、各地区で組織される実行委員会と公益財団法人放送文化基金が共催して開催しています。今回の北日本制作者フォーラムには、32の放送局から88本が出品され、HTBが出品した、陸上自衛隊の高機動車が海外に流出した問題を追跡し、自衛隊車両の解体を請け負った業者の不正と、自衛隊の管理体制の問題を浮き彫りにした一連の報道が優秀賞を受賞しました。

今回の受賞について、報道部の須藤真之介記者は「このような賞をいただきありがとうございます。去年『不正を行っているのではないか』と情報提供などがあり、半年にわたる独自の追跡取材がスタートしました。不正な解体の決め手となった防犯カメラ映像の入手や関係者への取材に成功し、業者のルール無視の実態、さらには防衛省の管理体制の甘さを浮き彫りにすることができました。この問題については今後も取材を継続していきます。」とコメントしています。

HTBはこれからも地域社会や地域の生活者に信頼されるニュースの取材・報道・発信に努め、地域ジャーナリズムの使命と責任を果たしてまいります。

